

# 1 次代検定林調査

予算区分： 国 補  
担当科名： 育種科

研究期間：主伐まで  
担当者名：八神徳彦 片岡久雄  
森 吉昭 矢田 豊

## ．目的

林木育種事業により選抜、植栽された「精英樹ならびに気象害抵抗性」の系統について、定期的に成長経過、被害状況等を調査し、遺伝的特性を検定する。

## ．調査内容

### 1．材質調査

昭和47年度に設定した横谷県有林（金沢市）におけるスギ精英樹の次代検定林で10クローン77本を伐採し材質等の標本調査を実施した。調査項目は、ヤング率、年輪幅、心材率、心材色、含水率、容積密度、幹の形状等である。

### 2．成長調査

同上検定林で、それぞれ10クローン（内対照2）について約800本の標本調査を実施した。調査項目は、樹高、胸高直径、幹曲り、根曲りである。

### 3．雪害調査

雪害による枯損率を標本調査した。

## ．調査結果

### 1．材質調査

計測値は林木育種センター関西育種場に送付し、データの集積後分析される。

### 2．成長調査

金沢1号の根曲りと幹曲りが特に大きい傾向が見られた。

### 3．雪害調査

金沢1号の生存率が高かった。

## ．考察および今後の課題

金沢1号は根曲り、幹曲りが大きかったが、反面雪害が少なかった。造林を進めるにあたって、個々の精英樹がもつ特性を生かして、立地条件に適した育種苗を使い分ける体制づくりが必要とされる。

検定林内における立地のばらつきが大きく、各精英樹の特性が反映されにくい、さらにデータを集積し、解析結果より採種・穂園を改良し優良な種苗を生産していく。